



秋田大学大学院 教育学研究科 2024

教職大学院（専門職学位課程）

教職実践専攻（入学定員20名）

- 学校マネジメントコース
- カリキュラム・授業開発コース
- 発達教育・特別支援教育コース

修士課程

心理教育実践専攻（入学定員6名）

- 心理教育実践コース



研究科長挨拶

秋田大学大学院教育学研究科は、平成元年に2専攻5専修で創設されましたが、平成28年度から教職実践専攻と心理教育実践専攻の2専攻という現在の体制となっています。本研究科の主目標は、初等中等教育を担う優れた質の高い教員の養成、および臨床心理学に基づいた人の心に寄り添う臨床心理専門職の養成にあります。修了生は学校現場や県教委等での指導的な役割、そして医療・保健・教育関係等で心理専門職としての役割を果たしています。

教職実践専攻は、専門性の高い教員を養成することを目的とする教職大学院(専門職大学院)であり、「学校マネジメントコース」「カリキュラム・授業開発コース」「発達教育・特別支援教育コース」の3つのコースから構成されています。現在では50を超える教職大学院が日本国内に設置されていますが、本専攻の特徴は、教科内容を選択的に包括したカリキュラム開発に力点を置いた科目構成となっていること、および管理職養成に特化した学校マネジメントコースが設置されていることです。修士論文がない代わりに、実践研究報告書の作成・提出が必要となります。また本専攻を修了すると、教職修士(専門職)の学位および専修免許状が授与されます。

心理教育実践専攻は、臨床心理関係の高度専門職を養成することを目的としており、「心理教育実践コース」のみで構成されています。秋田大学教育文化学部には臨床心理相談室が設置されていますので、有資格者である大学教員の指導・監督のもと、面接の担当や陪席を通して十分な実務経験を積むことができます。本専攻を修了するには修士論文の作成・提出が必要となりますが、修了すれば修士(教育学)の学位が授与されます。また公認心理師・臨床心理士・学校心理士の受験資格を得ることができます。

小学校では令和2年度、中学校では令和3年度、高校では令和4年度から、新学習指導要領に基づく教育が実施されています。プログラミング教育の開始などからわかるように、この新学習指導要領によって、初等中等教育の現場では大きな変化が生じています。また社会全体の多様化・複雑化がどんどん進んでいくことで、心のケアをおこなうカウンセリングが果たす役割も大きくなっています。高度な教育力やカウンセリング力を持つ人材を育てることは、社会からの要請であり、今後も減ることはないでしょう。

秋田大学大学院教育学研究科は、このような社会からの要請に基づき、即戦力となる修了生を世に送り出すため、日々進化を続けています。ぜひ本研究科への興味を持つと同時に、入学を考えて頂きますよう、お願い致します。

教育学研究科長
上田 晴彦

教育学研究科の目的

秋田大学大学院教育学研究科は、教育に関わる理論と実践の往還を通じて、学校現場から課題を抽出し多様な人々と連携協働しながら、組織的に課題を解決するとともに地域に蓄積された実践知の継承と創造に取り組む意欲と力量を有する、高度な教育専門職としての初等中等教育教員の養成とその教員や学校を支援し、地域の発展に貢献できる高度専門職業人の養成を目的とします。

教育学研究科の教育組織



理論と実践の往還を通じて学校現場の課題を解決し、実践知の継承と創造に取り組む意欲と高度な力量を有する初等中等教育教員を養成します。



教員や学校を支援して地域の発展に貢献するスクールカウンセラー(公認心理師、臨床心理士、学校心理士)を養成します。



教職実践専攻

専門職学位課程(教職大学院)

教職実践専攻(教職大学院)で育成する
3つの力

学校マネジメント・協働力

学校を適切にマネジメントし、同僚と協働することにより、学校が抱える課題を発見し、その解決に向けた取り組みを実行できる能力

カリキュラム・授業デザイン力

各教科にとどまらず、外国語活動、総合的な学習の時間などを含めて総合的、実践的にカリキュラムを開発し、授業をデザインする能力

成長発達サポート力

発達障害など、種々の障害及び発達上の課題に対応する学級経営、生徒指導、教育・発達相談に関わる能力

教職実践専攻(教職大学院)の3つのコース

教職実践専攻
(教職大学院)

学校マネジメントコース

カリキュラム・授業開発コース

発達教育・特別支援教育コース

教職実践専攻(教職大学院)の特徴

●教師力の高度化

学校の課題を解決し、実践知の継承と創造に取り組む教員を養成します。

●力強いサポート

実務家教員と研究者教員が、理論と実践の往還による質の高い協同指導で後押しします。

●連携による高い効果

秋田県・市町村教育委員会との強い連携で、指導主事や教育専門監等の優れた実践が研修できます。

●共に成長するメンターとメンティー

「職員室」(院生室)での現職院生と学部卒院生の意見交流が、互いのキャリア形成を促します。

●省察を重ね確かな実践力

附属学校園や連携協力校での週1日の実習を通じ、成果と課題を深く見つめ実践力に生かします。

●広く求める知

教職員支援機構の講習、教職大学院交流、先進地視察等での多くの気づきと出会います。

入学者等への【優遇措置】

①教員採用試験での優遇(例：秋田県教育委員会)

※入学予定者及び修了予定者を対象として

- ▶大学からの推薦枠があります。
- ▶大学院2年次から修了後の2年間、一次選考試験「総合教養」が免除されます。
- ▶教職大学院進学予定者で教員採用試験合格者は、希望があれば2年間採用が猶予されます。

②教職チャレンジプログラム

※本専攻の受験にあたり教員免許状の所有(または取得見込み)がその条件となりますが、さらなる免許状の取得希望者を対象として

- ▶必要単位修得の上で学部の授業の履修が必要な場合、学部授業料免除で1校種の、そのうち中・高では1教科の免許状が取得可能です。
- ▶所定単位の修得で専修免許状を取得できます。

③教員養成6年一貫プログラム

※学部在学中の選考試験合格者を対象として

- ▶4年次に教職大学院の授業を先取り受講し、入学後に単位認定されます。

④学部4年次での教員採用試験合格者へ奨学金(入学金相当)を教職大学院入学後給付

※秋田大学教育文化学部4年次を対象として

教職実践専攻(教職大学院)のカリキュラムで学んでいる学部卒院生からのメッセージ



安部大成 教職実践専攻(教職大学院)1年
カリキュラム・授業開発コース

教職大学院での現職の先生方、ストレートマスターと学び合う生活は非常に充実しています。年間を通じたインターンシップでは、学担としての経験値を上げることができます。話題であるICTなどのこれからの教育に関連する授業もあります。新たな刺激が受けられる教職大学院に入学してよかったです。



須藤よしの 教職実践専攻(教職大学院)2年
カリキュラム・授業開発コース

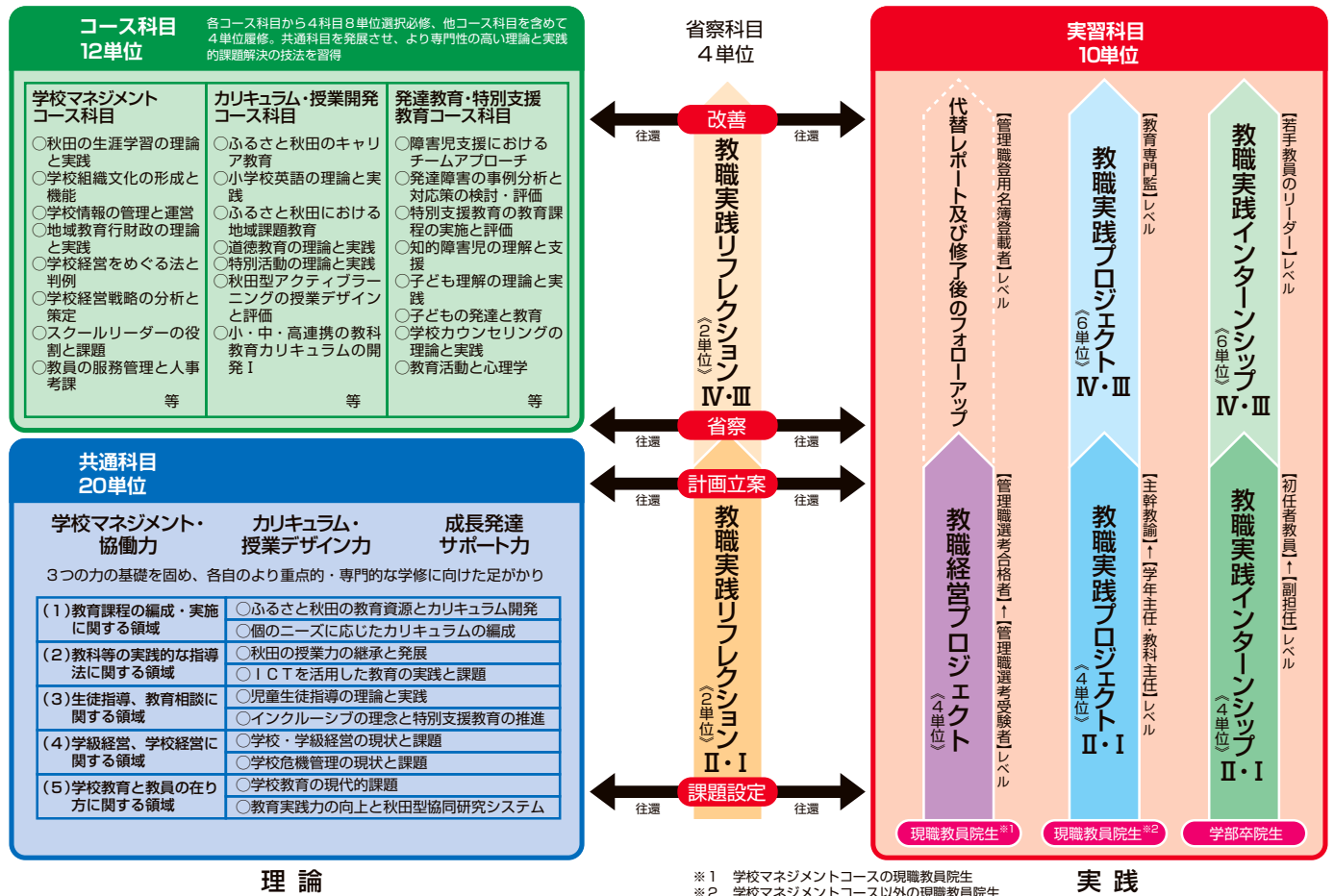
教職大学院では理論と実践の往還を通し、学部時代よりも更に教師としての高度な知識や実践力を培います。身の回りには同じ目標をもつ院生や経験豊富な現職の先生方がいらっしゃるという環境で、学びを深めることができます。「学び続ける教師」を目指す後輩のみなさんをお待ちしています!

教職実践専攻(教職大学院)のカリキュラム

教職実践専攻(教職大学院)修了で
得られる資格

- 教職修士(専門職)
- 専修免許状

※なお、秋田県では採用1年目の初任者研修
の軽減があります。レポート等の課題も少
なく、一人前としてどんどん活躍できます。



専任教員の紹介

- ①職名
- ②専門分野／前職
- ③主な担当科目



長瀬 達也

- ①教授・研究者教員
- ②美術教育・教科教育学
- ③教科教育実践の理論と展開



細川 和仁

- ①准教授・研究者教員
- ②教師学・教育学・教育方法学
- ③学校組織文化の形成と機能



千葉 圭子

- ①特別教授・実務家教員
- ②前秋田市立小学校長、元秋田市教育委員会指導主事
- ③教員の服務管理と人事考課



鎌田 信

- ①教授・実務家教員
- ②元秋田県教育次長
- ③地域教育行政の現状と課題



佐藤 学

- ①教授・研究者教員
- ②数学教育学
- ③秋田型アクティブラーニングの授業デザインと評価



秋元 卓也

- ①特別教授・実務家教員
- ②元秋田県教育庁北教育事務所山本出張所長
- ③教員の服務管理と人事考課



櫻庭 直美

- ①准教授・実務家教員
- ②元秋田県教育庁義務教育課副主幹
- ③学校・学級経営の現状と課題



佐藤 修司

- ①教授・研究者教員
- ②教育行政学・法学
- ③学校経営戦略の分析と策定



藤井 慶博

- ①教授・研究者教員
- ②特別支援教育
- ③インクルーシブの理念と特別支援教育の推進



成田 雅樹

- ①教授・研究者教員
- ②国語科教育学・教育方法学
- ③秋田の授業力の継承と発展



菊地 雄平

- ①客員准教授・実務家教員
- ②秋田大学教育文化学部附属特別支援学校主幹教諭
- ③特別支援教育の教育課程の実施と評価



田中 誠祐

- ①教授・実務家教員
- ②元秋田県教育庁義務教育課副主幹
- ③教育実践力の向上と秋田型協同研究システム



外池 智

- ①教授・研究者教員
- ②社会科教育学・歴史教育学・平和教育学
- ③ふるさと秋田のキャリア教育



近江谷 正幸

- ①特別教授・実務家教員
- ②元秋田県立大曲高等学校長
- ③スクールリーダーの役割と課題

学校マネジメントコース

これからの学校経営や改革を力強く推進できる、組織マネジメント力を備えたスクールリーダーを養成

【現職教員対象／1年プログラム】

- 勤務校での業務から完全に離れて、1年間教職に関わる理論および応用に関する研究に、没頭することができます。
- これまでの教職経験を振り返りながら、より高度な教育専門職としての役割を担うための深い学識と、卓越した実践力を身に付けることができます。
- 学部卒院生と共に学び、若手へ実践知を伝える力を身に付けることができます。

時間割の例 学校マネジメントコース 現職教員院生の場合ー

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1・2			秋田の生涯学習の理論と実践		
3・4	個のニーズに応じたカリキュラムの編成		秋田の授業力の継承と発展		学校教育の現代的課題
5・6		教職経営プロジェクトⅠa	ICTを活用した教育の実践と課題	インクルーシブの理念と特別支援教育の推進	教員の服務管理と人事考課
7・8	学校経営戦略の分析と策定		児童生徒指導の理論と実践	ふるさと秋田における地域課題教育	スクールリーダーの役割と課題
9・10				教科教育実践の理論と展開	教職実践リフレクションⅠ

学校マネジメントコースの一コマ

現職教員院生と学部卒院生が共に過ごす各院生室では、学校の職員室をイメージした机の配置や役割分担がされていて、学校の雰囲気や自然と伝わってきます。
秋田県教育委員会が実施する全県指導主事等連絡協議会や独立行政法人教職員支援機構が行う教職員等中央研修に参加して、自らのキャリアアップにつなげることができます。



和やかな雰囲気のある院生室



中央研修の風景

修了院生の実践研究報告書テーマ例 (実践研究報告書はA4で8頁です)

- ・ 学習・生徒指導メンターチームを基盤とするウェブ型マネジメントの開発
ー 大量退職・大量採用期における実践知の継承と発展を目指してー
- ・ 道徳教育の充実に向けた「パッケージ型ユニット」の開発
ー 道徳科を要とする教科横断的な視点を取り入れたカリキュラム・マネジメントを通してー
- ・ 教師の協同的活動を通じた学校改善
ー 学校運営協議会の機能強化を目指してー

修了後の進路等

- ・ 県立学校教頭 ・ 市町村立小・中学校校長・教頭 ・ 県教育委員会
管理主事・指導主事 ・ 各学校主幹教諭 等

《授業紹介》 学校教育の現代的課題

教育専門職として求められる責任感と不断の向上心という資質・能力の向上のため、ミドルリーダーとしての学校教育に関する主体的な判断力、改革力を修得します。学部卒院生と現職教員院生が同一のテーマについて、一緒に意見交換をしながら議論を深めています。なお、本教職大学院では秋田県総合教育センター研修員も授業に参加することがあり、この授業でもそれぞれの経験を踏まえた活発な議論が行われています。

《教職大学院での学び》

鈴木 貴子 令和4年度修了
秋田市立下北手小学校教頭



学校に復帰し多忙な中にも充実した日々を過ごしています。学校現場では、教職大学院で学んだことが次々と押し寄せ、時には素早い判断を迫られる場合もあります。そうした時、教職大学院での学びが「自分が何をすべきか」を考える道標となり、まさに「理論と実践の往還」を実感する毎日です。共に学んだ仲間達の校種等は様々ですが、お互いに近況を伝えエールを送り合っています。大学院での学びや仲間との絆は自分にとって貴重な財産です。

カリキュラム・授業開発コース

高度な授業力やカリキュラム開発力、教科指導力を備え、校内外の授業研究をリードできる教員を養成

【学部卒業者・現職教員対象／2年・3年プログラム】

- 教職実践インターンシップ（学部卒院生）、教職実践プロジェクト（現職教員院生）では、研究テーマに基づいた検証授業を実践し、担当教員の授業参観・リフレクションを通して理論と実践を往還させることにより、指導力の向上を図っています。
- 院生室を模擬職員室として現職教員院生と学部卒院生で構成しています。現職教員院生がメンター役となり学部卒院生との日常的なコミュニケーションにより、異校種・異年齢から学ぶ学修環境となっています。
- 院生一人に対して原則として研究者教員と実務家教員が指導教員として担当しています。院生一人一人のニーズに応じた実践研究支援体制を整えています。

時間割の例 カリキュラム・授業開発コース 学部卒院生1年次の場合

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1・2			生活科・総合的な学習の時間の授業デザインと評価		
3・4	個のニーズに応じたカリキュラムの編成		秋田の授業力の継承と発展	道徳教育の理論と実践	学校教育の現代的課題
5・6	特別活動の理論と実践	教職実践インターンシップⅠa	ICTを活用した教育の実践と課題		
7・8			児童生徒指導の理論と実践	ふるさと秋田における地域課題教育	
9・10				教科教育実践の理論と展開	教職実践リフレクションⅠ

カリキュラム・授業開発コースの1コマ

学部卒院生2年次のインターンシップでは、秋田市内連携協力校において年間30日以上の実習を重ね研究テーマに沿った検証授業を実践し、実践後は授業参観した大学の担当教員と授業実践リフレクションを行い授業力向上を図っています。

現職教員院生2年次の教職実践プロジェクトでは、勤務校において20日程度、勤務校外で10日程度の実習を行い、実習後は大学の担当教員とリフレクションを行い指導力向上を図っています。



修了院生の実践研究報告書テーマ例 (実践研究報告書はA4で8頁です)

- ・主体的に算数学習に取り組む態度を育む振り返り指導に関する研究
- ・家庭科における見方・考え方を働かせた問題解決学習の充実
—中学校住生活領域の実践を通して—
- ・高等学校古典における探究型授業の実践に関する研究
—読む力の育成を目指して—

修了後の進路

・県立高等学校教諭・市町村立小・中学校教諭・教育専門監・研究主任等

《授業紹介》

ふるさと秋田のキャリア教育

主な内容は、キャリア教育の推進の背景にある理論や動向について講義を通して理解し、実際に行われているキャリア教育の実践例について、現職教員院生の発表や県教委主催「キャリア教育実践研究協議会」に参加することで理解します。その後の演習では、グループワークでキャリア教育を学校経営の柱とする仮想の小・中・高一貫教育校の設立を構想して、キャリア教育全体計画を作成します。最終的には構想した学校のプレゼンテーションを行い、自己評価・相互評価を行います。

《教職大学院での学び》

阿部 倫己 令和4年度修了
秋田市立御所野小学校教諭



学校現場に実際に出て、教職大学院で得た知識や経験が日々の授業や学校業務の中で活きていると感じています。大学の先生方や現職院生、インターンシップで出会った子どもたち、先生方との関わりの中で、教員として人として大きく成長することができました。また、改めて自分を見つめ直す大切な時間となりました。

発達教育・特別支援教育コース

学級経営、教育相談、特別支援教育等を担う、高度な専門性を有する教員を養成

【学部卒業者・現職教員対象／2年・3年プログラム】

- 教職実践インターンシップ(学部卒院生)や、教職実践プロジェクト(現職教員院生)では、院生の研究テーマにより学校種や学部、学級等を決め、実習と研究を密接に関連付けています。
- 授業では、県・市教育委員会や特別支援学校からゲストティーチャーを招いて理論と実践を往還させて、教育現場の課題解決に直結する指導力の向上を図っています。
- 日本特殊教育学会や日本LD学会等、主要な学会に教員や院生OBらと共に参加することで、他大学の研究者や院生との交流を深めています。



《授業紹介》 発達障害の事例分析と対応策の検討・評価

この授業は、前半(学童期)と後半(青年～成人期)に分かれて、それぞれ専門の教員が共同で担当しています。前半では、主に学童期、後半では、主に青年から成人期を中心とした発達障害の個別事例に関する国内外の文献の講読を通し、分析方法の妥当性や結果の信頼性に関して議論しています。授業では、随時、具体的な支援の在り方等に関する講義も行われています。なお、この授業には多数の秋田県総合教育センター研修員も意欲的に参加しています。



《教職大学院での学び》

嶋崎 友貴 令和4年度修了
秋田市立東小学校教諭

大学院でのゼミや研究を通して、「こんな授業をしたい」「子どもとこんな関わりをしたい」など、自分の理想像を具体的に持つことができました。この春から教諭として働き、理想通りに上手くはいきませんが、それでも、成果はどんな点だったのか、どこが課題なのかを振り返られるのは、大学院での学びによるものだと思います。子ども達の学びや生活の充実に向け、今なお、理論と実践の往還を重ねております。

時間割の例 発達教育・特別支援教育コース 現職教員院生の場合

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1・2	児童生徒の認知と発達Ⅱ		障害児教育におけるチームアプローチ		
3・4	個のニーズに応じたカリキュラムの編成		秋田の授業力の継承と発展	特別支援教育の教育課程の実施と評価	学校教育の現代的課題
5・6		教職実践プロジェクトⅠb	ICTを活用した教育の実践と課題	インクルーシブの理念と特別支援教育の推進	発達障害の事例分析と対応策の検討・評価
7・8	子どもの発達と教育		児童生徒指導の理論と実践		スクールリーダーの役割と課題
9・10			教職実践リフレクションⅡ		教職実践リフレクションⅠ

発達教育・特別支援教育コースの一コマ

本コースは院生の意欲的な研究活動を支援しています。本大学院教員は学会での発表や論文投稿などについても、大学院修了後も含め丁寧に指導します。これまで日本特殊教育学会などでの発表がありました。院生はプロジェクトやインターンシップに積極的に取り組んでいます。そして、院生が経験していなかったことや挑戦したいことについても、実習校や担当教員などが手厚く支援する体制が整っています。



日本特殊教育学会のポスター発表を終えて指導教員とともに



特別支援学校での実習風景

修了院生の実践研究報告書テーマ例 (実践研究報告書はA4で8頁です)

- ・ 特別支援学校生徒の自尊感情及びレジリエンスに着目した進路指導に関する検討
- ・ 学校におけるインクルーシブ教育システム構築への提案
ー 合理的配慮と基礎的環境整備の充実に向けた検討を通してー
- ・ 知的障害特別支援学校における教科教育の指導方法の検討
ー 話し合い活動を取り入れた授業実践からー

修了後の進路

・ 県立特別支援学校教諭・県教育委員会指導主事・公立小学校教諭・教育専門監・各校教務主任・研究主任・病弱教育コーディネーター・進路指導主事 等

心理教育実践専攻 修士課程

《カリキュラム》

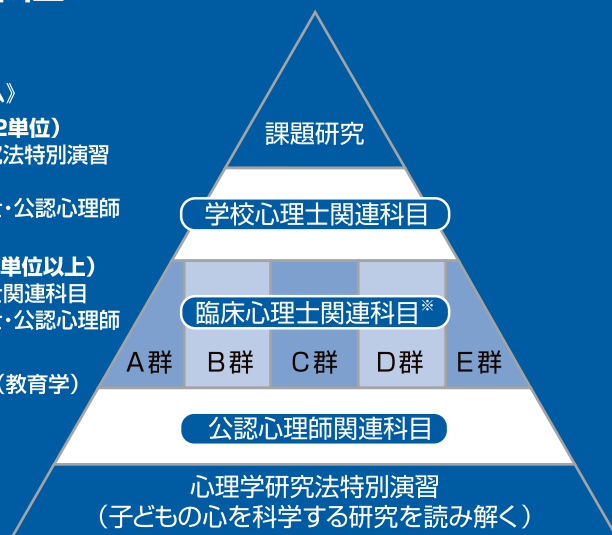
必修科目(22単位)

- ・心理学研究法特別演習
- ・課題研究
- ・臨床心理士・公認心理師
関連科目

選択科目(12単位以上)

- ・学校心理士関連科目
- ・臨床心理士・公認心理師
関連科目

《学位》修士(教育学)



《心理教育実践専攻》で養成する人材

教育、医療、福祉等の分野で活躍する心理専門職

《心理教育実践専攻》で取得可能な資格 等

1. 公認心理師受験資格(4年制大学において公認心理師試験受験資格を得るのに必要な所定の学部科目を修めた者)
2. 臨床心理士受験資格
3. 学校心理士資格申請に必要な授業(大学院修了後、これに常勤学校等での専門的実務経験も必要です。詳細は学校心理士認定運営機構のホームページを参照)

※科目A～Eは、「臨床心理士受験資格に関する大学院指定運用内規」に定められた領域区分に基づく。

心理教育実践専攻の特徴

①公認心理師受験資格に必要なカリキュラムの提供

国家資格公認心理師の受験資格が得られるカリキュラムを構成しています。この指定カリキュラムは心理学の専門的知識と技能を学び、現代社会を取り巻く様々な心理支援を必要とする課題に対して、より専門的な心理教育的支援を行えるようになります。

②日本臨床心理士資格認定協会第1種指定大学院

病院実習や福祉・教育環境などに対応した実践と研究ができる臨床心理士の育成を目的とした臨床心理士の資格養成機関です。財団法人日本臨床心理士資格認定協会から、養成機関として、第1種認定を受けています。

③学校心理士のカリキュラムの提供

「学校心理士」認定運営機構による学校心理士の資格が得られるカリキュラムを構成しています。学校心理士は心理学の専門的知識と技能を学び、教育現場の教員等が子どもを取り巻く環境に対してより専門的な心理支援を行えるようになります。

④教員による、多様な分野での臨床心理活動

授業を受けもつ教員の臨床心理活動は、スクールカウンセリングや病院臨床等多岐にわたり、様々な領域における生きた臨床実践を学ぶことができます。

⑤臨床現場での豊かな実習経験

大学附属の臨床心理相談室での陪席やケース担当、精神科・デイケア・小児科・児童相談所での実習等、現場での実践経験の機会が多く設けられています。これらに加え、矯正施設における再犯防止教育に触れることのできる刑務所等での実習、不登校の子どもたちとかわることのできる適応指導教室実習など、豊富な臨床実習が用意されています。

現役院生にインタビュー



若松紗莉

修士課程2年

少人数制のため、同期や先輩方と協力してコミュニケーションを取りながら学べるので、とても心強い環境です。また、研究指導や実習の際も先生方から細やかな指導を受けることができるため、大きな成長につながっていると感じます。附属している相談室の運営や心理面接の担当、陪席などを通じて、豊富な資源を用いて、実際の心理職の現場を間近で感じることができるため、将来自分がどのような心理支援者になっていくのかというイメージを持つことができます。



森智基

修士課程1年

大学院では大学附属の臨床心理相談室での実習が加わり、電話実習、心理面接陪席や担当、カンファレンスといった現場の学びが始まります。日常的に現場で学ぶ機会があること、学内だけでなく学外でも様々な実習があることで、実際に心理職として働くことをイメージしたり、その中で自分がやりたいことを考えたりする機会になります。不安もありますが、様々な学びの中で先輩方や先生方はとても頼りになり、のびのびと学習することができる環境です。

心理教育実践専攻の時間割の例と授業の特徴

—心理教育実践専攻1年生の1週間—

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1・2	発達心理学特論		障害児支援における チームアプローチ		臨床心理基礎実習
3・4			電話実習		
5・6	課題研究	臨床心理学特論Ⅰ		臨床心理査定演習Ⅰ	《集中講義》 ・教育分野に関する理論と支援の展開 ・臨床心理の倫理と関連行政論
7・8		心理学研究法 特別演習		カンファレンス (月2回)	
9・10					

臨床系の授業は、現場ですぐに役立つ知識を身につけられるよう配慮されています。

「心理学研究法特別演習」はパワーポイントやポスター、紙資料による研究のプレゼンテーション技法やその基礎知識、および研究テーマに関連した研究論文の読み込み方を互いに議論し合いながら学びます。

「臨床心理基礎実習」では面接のロールプレイを通して、面接の技法を学びます。また、集中講義では各領域のエキスパートの先生方とディスカッションができます。

「カンファレンス」は担当しているケースを検討する場です。教員・院生全員の意見を聞けるので大変参考になります。また1年次の後半から、臨床心理相談室関連の業務担当が多くなり、本格化します。教員の面接に陪席したり、実際にケースに入ったりと臨床の腕を磨く機会が多くなります。

心理教育実践専攻

修士論文テーマ(抜粋)

《令和4年度》

- 「支援(者)臭」から考えるひきこもり支援の在り方に関する研究
- いじめ対応についての研修の在り方に関する研究—いじめ場面に対する教員の状況認識に着目して—
- 入眠時の意図的なマインドワンダリングが不眠傾向に与える影響
- Highly Sensitive Child(HSC)傾向者の登校回避感情を高める要因について
- 炎症性腸疾患患者の喪失体験に対する認知的感情制御方略と意味の付与との関連—認知的評価に着目して—

《令和3年度》

- 大学生における社会的カモフラージュ行動が精神的健康に及ぼす影響—自閉スペクトラム症傾向に着目して—
- 児童福祉施設職員の「問題行動」の捉え方が子どもへのかかわりに与える影響—施設職員が持つ「ビリーフ」に着目して—
- Twitterにおける「いいね」評価への過敏さに関する基礎的研究—自己理解の方略と自己呈示規範内在化傾向に着目して—

《令和2年度》

- 対人暴力の低減に向けた「積極的目撃対応プログラム」の効果検証
- 「気になる子」をもつ親への関係強化アプローチによる否定的認知と養育行動の改善
- 育児における恥感情に関する研究—養育態度の世代間連鎖に着目して—
- 薬物乱用者の感情への態度に着目した心理教育アプローチについての検討
- 児童養護施設入所経験者が抱くスティグマが対人関係に与える影響—被異質視不安・異質拒否傾向と友人関係満足度との関連に注目して—

《令和元年度》

- 児童養護施設職員と心理職との協働に関する研究—「人生の樹」を用いた施設職員の児童に対する理解の変化に着目して—
- 自閉症スペクトラムの特性と夢との関連—夢の構造的特徴の検討—
- アトピー性皮膚炎の大学生の心理的苦痛の軽減に関する研究—かゆみや皮膚をかく行動にマインドフルになることの効果に着目して—
- 子どもの相談における親の援助要請行動の抑制要因—パーソナル・サービス・ギャップに着目して—

《平成30年度》

- 自閉スペクトラム症児におけるユーモア認知と社会的機能—他者の存在が与える影響に着目して—
- 解決志向アプローチにおける初學者の面接特長と面接プロセスに関する研究—初學者と熟達者の面接比較を通して—
- 志向性から見た自己抑制型行動特性と内的適応との関連
- 短期マインドフルネス介入による未就学児を持つ母親支援—育児関連デイリーハラスル低減と養育行動に着目して—

相談室実習の特徴

秋田大学臨床心理相談室は公認心理師・臨床心理士資格をもった教員とスタッフにより運営され、外部からの来談者にカウンセリング等の臨床心理活動を行っています。同時に大学院生の養成機関を兼ねており、教員指導のもと面接の担当や陪席、カンファレンスなど年間およそ450時間におよぶ実習を行います。さらに、1人につき1医療機関での約1年間の実習、秋田刑務所との連携により司法・犯罪分野での実習等があり、外部実習を含め他学にはない豊富な臨床経験と指導機会が得られます。



来談者受け入れと相談室実習の流れ —ケースカンファレンス—

電話での申し込み

相談受付

面接日時などを連絡

インテーク面接

相談の概要を来談者から伺う

スタッフ会議

継続して相談を受ける教員、大学院生の担当者が決まる

継続会議

継続的な相談実習が始まる



小児科実習



講義



プレイルーム

秋田大学臨床心理相談室での充実した実習

併設されている臨床心理相談室は、大学院生の自習室、教室、教員室と同じ建物の中にあります。授業の合間にも臨床実習を受けることができ、ケース指導教員からスーパービジョンを受けることができます。大学院生が教員担当の心理面接に陪席(同席)する、大学院生が直接心理面接を担当する、大学院生が心理検査を担当するといった形で、実務経験を積んでいきます。在学期間中の担当ケース数は平均4.4件と、現場で即戦力となる心理専門職の養成に向けて取り組んでいます。教員の指導は、1回の面接の事前・事後に少なくとも2回受けられます。他にはない、とても手厚い個別指導です。その他、授業外の研究会が3つあり、本学修了生の先輩を含む、学外の実務家と交流しながら学ぶ機会があります。



修了生の声



富谷 咲和 令和3年度修了
秋田県北児童相談所

学内において授業や実習が豊富であることに加え、多様な領域で外部実習の機会が設けられており、大変学びの深い2年間でした。私は実習をこなしていく中で児童福祉臨床の奥深さに惹かれ、現在の職場で働くことを決めました。親や児童とのかかわりを面接や実習先において間近で見たり、実際に自分が対応する機会をいただけたことで、ケースの見立てをするときに、大学院での自分の体験を振り返ることが現在の臨床にも役立っています。



大沢 脩太 平成25年度修了
社会福祉法人みその 聖園天使園(児童養護施設)

学内での授業や実習はもちろんですが、学外での実習や活動からも学び得ることが多いです。特に、修士論文の作成にあたりリアルな臨床の現場に入りながら調査を行った体験からは、ただ面接室で相談を待つのではなく、現場に出向いて当事者の視点やニーズに即した支援を行う姿勢を学びました。このときの体験は、子どもとその家族を支えるチームの一員としての機能が求められる児童養護施設で働くうえでもとても役立っています。



進藤 晴美 平成28年度修了
特定医療法人 仁政会 杉山病院

実技演習が豊富で、様々な専門分野の先生方の丹念な指導のもと実感として学びを深められます。学生同士で議論し合う機会も多く、多視点から考える力が養われます。受付業務やロールプレイ実習での対応の基礎づくりに加え、相談室における心理面接の陪席を通して心理職としての振る舞い方が身につきます。児童相談所・病院の実習もあり、現場での働き方をイメージできますし、個別にスーパービジョンを受けながらケースを担当できるので就職してから活かせる実践力が磨かれます。

教員紹介

①専門分野 ②主な担当科目



柴田 健
教授

①社会構成主義的心理療法
②家族心理学特論

構成主義的心理療法の視点から地域に根ざした効果的な心理臨床実践を考えています。ブリーフセラピーと家族療法を中心に実践的研究を行っています。(公認心理師・臨床心理士)



中野 良樹
教授

①教育・学習・生理心理学
②教育心理学特論

実験は娯楽性が大事。ひらめき型パズルゲームにおける問題解決、パラパラ・アニメによる感情伝達、シルエット当てクイズにおける協力行動、といった実験から、感情や潜在学習など自分では認識できない意識下の心理過程にアプローチしています。



北島 正人
教授

①医療心理臨床
②臨床心理面接特論Ⅱ

精神科をはじめとする医療心理臨床では、心理療法、ターミナルケア、リハビリテーションなど多岐にわたる力が求められます。力動的な視点から治療構造を考える、心理アセスメントを用いてバーンアウト現象や自殺リスクを評価する研究を行っています。(公認心理師・臨床心理士)



木村 久仁子
准教授

①福祉心理臨床
②臨床心理学特論

悩みごとや問題を抱えている人に対して、児童相談所や福祉事務所、市町村など福祉の現場で支援を行っている人達が、どうすれば相談者にとっても支援者にとってもよりよい支援ができるのかを研究しています。(公認心理師・臨床心理士)



綾部 直子
講師

①認知行動療法
②学校カウンセリングの理論と実践

これまで睡眠障害を抱える人たちに対して、主に認知行動的なアプローチを用いた心理社会支援についての研究・実践をしてきました。子どもたちに対する睡眠教育にも関心を持っています。(公認心理師・臨床心理士)



侯 玥江
講師

①発達心理学
②発達心理学特論

環境が変わるときに適応がいかに再構築されるかにおいて、小中移行期の学校適応に着目して研究しています。特に個人差を数理的に表現できる統計モデルを用いて多様な学校適応の変化動態とそのメカニズムの検討を行っています。

主な就職先

●医療機関

【公的機関】〈秋田県〉秋田県立医療療育センター、市立秋田総合病院（精神科・小児科）、秋田大学病院(精神科)、秋田県循環器・脳脊髄センター、秋田県立リハビリテーション・精神医療センター〈北海道〉砂川市立病院 〈千葉県〉千葉大学附属病院 〈東京都〉国立精神・神経医療研究センター

【民間・法人等】〈秋田県〉特定医療法人仁政会杉山病院、医療法人回生会秋田回生会病院、JA秋田厚生連能代厚生医療センター、医療法人久幸会今村病院、特定医療法人荘和会菅原病院、いなみ小児科ファミリークリニック、中通総合病院 〈青森県〉医療法人芙蓉会芙蓉会病院(精神科) 〈福島県〉医療法人あさかホスピタル 〈新潟県〉医療法人立川メディカルセンター柏崎厚生病院 〈愛知県〉社会医療法人財団親和会八千代病院認知症疾患医療センター、医療法人福智会すずかけクリニック、ひだまりこころクリニック 〈岐阜県〉明萌会ウェルネス高井クリニック

●福祉関係

【公的機関】〈北海道〉函館児童相談所 〈秋田県〉秋田県南児童相談所、男鹿市市民福祉部健康子育て課、秋田県北児童相談所 〈岩手県〉岩手県福祉総合相談センター児童女性部・児童相談課、岩手県宮古児童相談所、岩手県一関児童相談所 〈宮城県〉仙台市青葉区保健福祉センター

【民間・法人等】〈秋田県〉児童養護施設感恩講児童保育園、児童養護施設聖園天使園、NPO法人自殺対策センター蜘蛛の糸、児童発達支援・放課後等デイサービスらそ 〈青森県〉児童心理治療施設青森おおぞら学園 〈岩手県〉社会福祉法人大洋会児童家庭支援センター大洋、社会福祉法人大洋会児童養護施設大洋学園 〈長野県〉社会福祉法人興望館児童養護施設掛学荘

●司法・矯正関係

【公的機関】〈福島県〉法務省矯正局福島少年鑑別所(法務技官) 〈秋田県〉秋田県警察被害者支援室

●教育関係

【公的機関・法人等】〈秋田県〉秋田県立大学学生相談室、秋田大学附属特別支援学校、秋田大学学生支援総合センター、秋田大学臨床心理相談室 〈岩手県〉岩手県小学校教員 〈東京都〉大田区教育センター 〈埼玉県〉さいたま市教育委員会特別支援教育相談センターさくら草、各都道府県スクールカウンセラー



秋田大学大学院教育学研究科
令和6年度入学試験日程

《第Ⅰ期募集》

- 願書受付 令和5年8月30日(水)～9月6日(水)
- 入学試験 令和5年9月30日(土)
- 合格発表 令和5年10月17日(火)

《第Ⅱ期募集》

- 願書受付 令和5年12月1日(金)～12月7日(木)
(学校マネジメントコースは12月12日(火)まで)
- 入学試験 令和5年12月16日(土)
- 合格発表 令和6年1月16日(火)

※大学院入試に関する詳細や最新の情報については、本研究科ホームページを確認してください。

秋田大学手形キャンパスへの交通案内

■秋田駅西口から「バス」の場合(秋田中央交通)

⑫番から「手形山大学病院」線

※「秋田大学前」下車 徒歩1分

■秋田駅東口から「徒歩」の場合 ▶約15分(約1.3km)



秋田大学 | 大学院教育学研究科

〒010-8502

秋田県秋田市手形学園町1-1

TEL : 018-889-2509

FAX : 018-833-3049

<http://www.akita-u.ac.jp/eduhuman/>



秋田大学大学院教育学研究科
ホームページ QR コード

令和5年7月14日発行